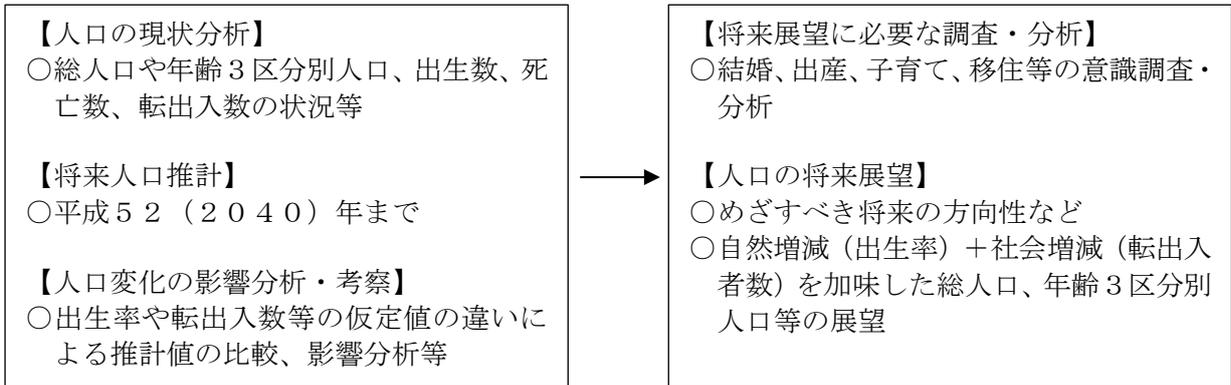


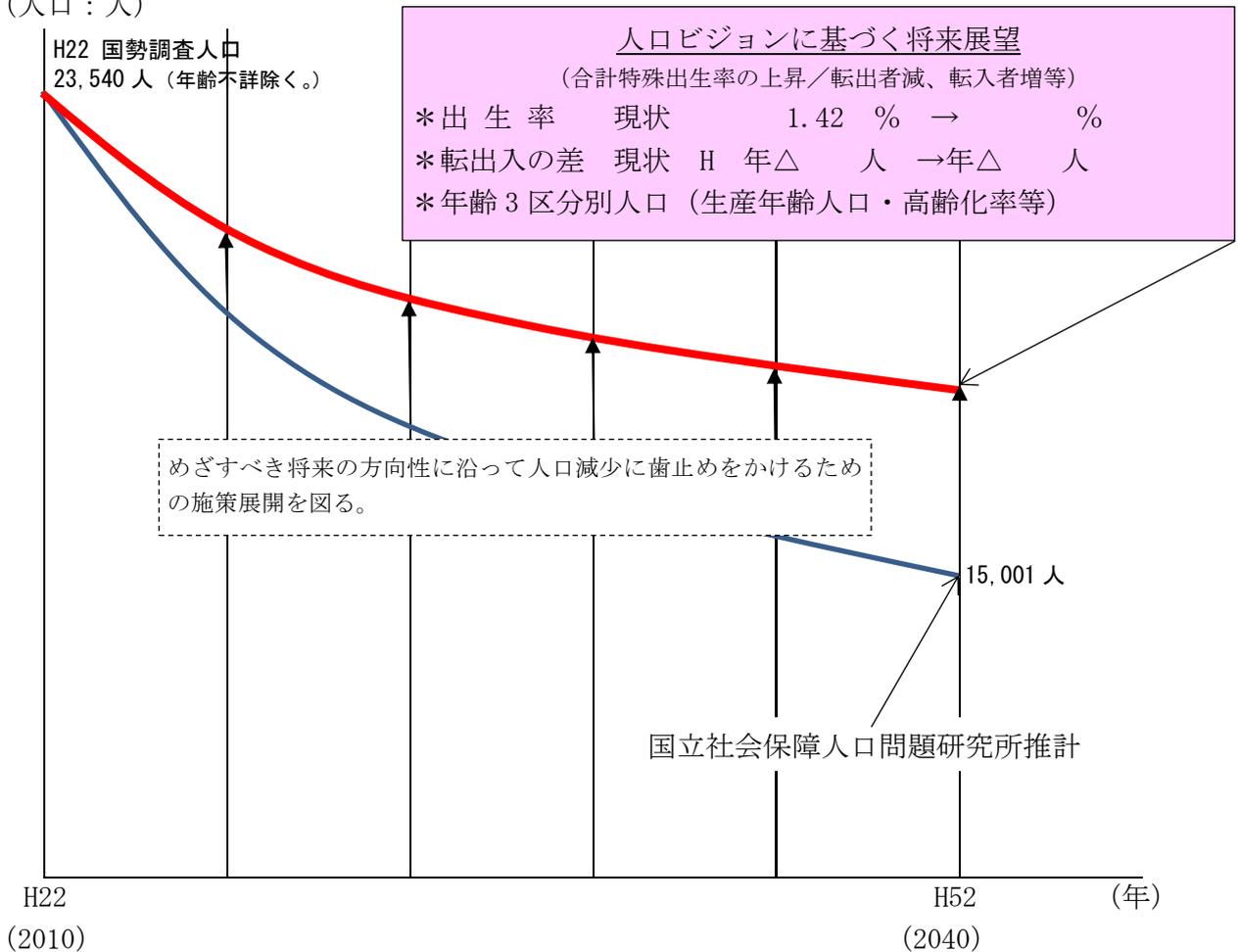
飯山市人口ビジョン 対象期間：平成52（2040）年まで

飯山市の人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関する基本認識の共有を図り、取り組むべき将来の長期的な方向を示す。



◇人口の将来展望のイメージ

(人口：人)



◇飯山市の人口に関する将来の方向

飯山市の課題

1

「北陸新幹線飯山駅開業」、「人口減少」、「地域の産業振興」及び「安心して住み続けられる地域づくり」の4点を飯山市の課題として位置づける。(飯山市第5次総合計画から引用)

地域経済活性化・ストップ人口減少

2

大都市圏からのアクセスの良さと豊かな自然環境・地域資源が併存する都市としての特色・魅力の発信、北陸新幹線飯山駅開業効果を生かした地域経済活性化を図り、人口減少に歯止めをかける。

新たな価値創造の都市としての発展

3

『信越自然郷』の拠点都市として住む人も訪れる人もその良さが実感できる「自然と共生した新たな価値創造の都市」として更に発展することをめざす。

多様で魅力ある地域づくり

4

豊かな自然やこれまで培われた地域固有の伝統や文化を維持しながら、安心して住み続けられる多様で魅力ある地域づくりを実現する。

この方向に沿って、出生者数の増加と転出超過の是正をめざし、「まち・ひと・しごと」創生のための総合的かつ効果的な施策展開を図る。

平成52(2040)年	人口	〇〇〇〇〇人	(H22国調:23,540人)
	合計特殊出生率	〇〇〇%	(H20~H24年:1.42)
	転出入の差	〇〇〇人	
	人口構造の若返り		

飯山市人口ビジョンを踏まえ、安定した人口構造を保持し、将来にわたって市民が安心して暮らし、働ける活力ある地域の形成、若い世代を中心として希望に応じた結婚・出産・子育てができる新幹線時代の飯山市づくりを目指す計画（総合戦略）とする。総合戦略の策定にあたっては、本市にとって過去に例がない大きなインパクトとなる「北陸新幹線飯山駅開業」を特に意識し、開業を契機とした新たなまちづくりへの方向性を示し、総合戦略に基づく取組みが実効性の高いものとなるようにする。

◇戦略策定の基本方針

総合戦略策定の基本方針は次のとおりとする。

住む人も訪れる人もその良さが実感できる新幹線時代の飯山市づくり

- (1) 大都市圏からのアクセスの良さと豊かな自然環境・地域資源が併存する都市としての特色・魅力を生かしながら、住む人も訪れる人もその良さが実感できる新幹線時代の飯山市づくりの実現を目指し、目標達成に向けて市の総力をあげて取り組む。
- (2) 地域資源の価値を高めながら、北陸新幹線飯山駅開業の効果を継続的かつ効果的に地域活性化（民間ベースの経済活動促進、観光交流人口等の増、若者を中心とした雇用確保、人口定着等）に生かす。

◇戦略の柱（基本目標）

総合戦略の施策構築にあたり、基本方針に基づき次の4点を戦略の柱として位置づけ、目標達成に向けた施策展開を図る。



◇戦略策定・施策構築のポイント

- ① 成果重視（数値目標・KPI 達成のための施策）
- ② 費用対効果・相乗効果の高い施策の選定（施策相互の連携等）

◇施策の推進のポイント

- ① PDCAサイクル確立（定期的な施策・事業の点検・検証・バージョンアップ）
- ② 官民協働と連携強化（あらゆるネットワークの活用 人材、知恵、資本の結集）

懇談会における意見、提案等の抜粋（おおよそ戦略の柱ごとに分類・順不同）

地域経済活性化・雇用創出

<全般>

- ・新しい取り組みとして広小路界隈で町おこしをしたいという動きがある。これは民間の皆さん当然商売も繁盛ということもあるので行政と取り組みそこへ金融機関の皆さんにも参画いただいて民業も発展できればいい。（金融）
- ・企業誘致、起業する方に経理、財務について金融機関の皆さんからの指導を行政として支援できるといい。（金融）
- ・新幹線が通ったということで、信越自然郷の自然 HUB 駅という部分をもっとアピールできないか。（金融）
- ・飯山は知名度低い。（観光）
- ・何でペンションの後継者がいないのか。昔ほどもうからないので引き止められない。宿は30人とれるけど、夫婦2人で経営するので、10人にしておくかということになる。（観光）
- ・ペンションが別荘化している。売れても次の人は宿をやらない。（富裕層が買っている）（観光）
- ・ペンションとオーナーのマッチングをとにかく早くやる必要がある。（観光）
- ・不動産を活用したまちづくり。山のペンションからコンパクトシティに移り老人ホームに入り、ペンションから家賃収入がある。斑尾ペンション60軒のうち半分は危うい。戸狩民宿70軒はすぐにはどうこうということはない。（観光）
- ・バイパスの景観はどこも一緒だ。道路から5mは緑地帯として植樹したらどうか。普段行くところがいいと自慢になる。（観光）
- ・一回来てもらえれば飯山の良さがわかる。インパクトあるイベントを開催しリピーターをつくるのが大事。（売るための要素はいくつかあるが）人で売り出してはどうか。（高校生）
- ・野菜、水、米、星空など飯山の魅力を伝え、お客さんとして来ていただくことで、お金の換える手段・仕組みを作れば、生産の拡大、雇用創出、受け入れ先の増加につながるのでは？（子育て・若者）
- ・市としては、今ある産業の拡大というよりも新たな視点でやっていった方が良いのでは。（商工業）
- ・飯山駅、まゆみ人形館等集中投下したのなら遠慮しないでどんどん投資を。（商工業）
- ・新幹線開業でテレビに取り上げられることも多くなった。イメージが良かったのか問い合わせが増えた。飯山のイメージは良い。（商工業）
- ・飯山の魅力が発信しきれていない。ブランド化を目指しているが…。（商工業）
- ・「信越自然郷」もいいが、「飯山」のPRを。（商工業）
- ・業種は違っても「統一」できるものがほしい。「飯山」といえば「…」がない。（商工業）
- ・観光客を増やすのか、住んでいる人をふやすのか（ベッドタウンを目指すのか）。（商工業）
- ・特定の政策を支援するのではなく、いろいろなチャレンジができるように。民間がチャレンジしやすい環境づくりを。（商工業）
- ・（IT・伝統産業…）「特区」をつくり都会から人を呼ぶ。（商工業）

<雇用・起業>

- ・飯山で仕事を選べない。職場がないわけではない。（観光）
- ・従業員の確保難しい。従業員数はホテル20～30人。スキー場20～30人。中野、長野、野沢温泉から通っている人もいる。立地条件悪い。働く魅力がない。（観光）
- ・2002年に夏の斑尾パスポートを作った。山だけでなく、千曲川ラフティングを始めた。そして、現在、ZIPラインにもつながってきた。宿が体験型商品をもっている。（宿と体験の2足のワラジ）夏は毎日仕事がある。スキースクールの若い人は5月からラフティングの仕事、春、秋は農家での仕事をしている。飯山に定職はないが、仕事をつないで1年間食える。（観光）

- ・仕事の連続性を広域的な取組でできないか。語学のできる人、ホスピタリティのある人、アカデミックな人が必要。現在飯山、野沢、十日町出身者で10人くらいいる。住む場所がない。オーストラリア人増えている。自然が好きできている。窓を開けたら山みたいな場所を用意する必要がある。(観光)
- ・若い人は冬、外で寒い中リフト関係での仕事を好まない。タングラムは若い人多い。正社員よりパートの給料がいい。(観光)
- ・起業創業といっても、現実的にはかなり難しい。自分も会社を経営しているが、仕事を増やすのは大変なことだと実感している。他市の成功事例をそのまま飯山に置き換えても、環境の違いも有り適用は難しいだろう。(子育て・若者)
- ・働く人からすると、ある程度選択肢がないと、求人を出しても来ない。(商工業)
- ・流出の原因は働く場がないから。一例として、調理師学校の誘致→隣にレストラン→学生の実習の場・雇用の確保→飯山ブランドの確立→飯山の素材を生かし、特色を出し、飯山をアピール(商工業)
- ・老人を呼ぶ→携わる人が必要→雇用が生まれる。(商工業)
- ・自分たちの世代は「定年まで」務める世代だが今の若い人にはない。(商工業)
- ・若い人は「自分の趣味・楽しみ」が生活の7割、「仕事」は残りの3割。「仕事は3割でいいから」という環境を作っていたら。(商工業)
- ・製造業は土日の交代勤務、転勤もある。飯山の人になじまない(飯山の風土か)(商工業)
- ・就職先は条件面でいいところ、ステータスを求めている。(商工業)
- ・大学は首都圏、賃金格差、遊ぶ場所、都会の魅力。田舎がいいと思うのは後のこと。(商工業)
- ・せめて長男が残れるように。歳とればみんな帰ってくる。(商工業)
- ・勤めは「外」でも飯山に住めば。(商工業)
- ・起業希望者はたくさんいる。起業させればよいが、起業するにはリスクが心配。(商工業)
- ・空き店舗、空き地の活用は、(持ち主) 空き店舗、空き地を持っているだけで誰にも貸さない人が多い。市の指導を。(商工業)
- ・スキーしながら、自転車乗りながら仕事する。そんなスタイルも。(商工業)
- ・空地も増えてきている。空き店舗は上階に住んでいたり家賃が高い。市で何らかの施策を。(商工業)

<観光業>

- ・雪はデメリットではなく、観光資源として活用できることは十分にあると感じる。(金融)
- ・従業員は季節雇用である。冬になると80人くらいになる。シーズン終わると温泉施設だけで、10人になる。従業員確保が厳しい。雇用確保のために農業とか異業種とのコラボはどうか。(観光)
- ・宿泊業も後継者不足である。宿も減っている。食い止めるのが課題。(観光)
- ・貸切バス料金の値上げについては、戸狩は地域的に遠いので、マイナスとなっている。お客を送ってきたバスが、帰りの別のお客を送っていけば安くなる。(観光)
- ・バス料金値上げ(2~3割) 2~3件キャンセルになった。宿泊費を下げればいいというものではない。近隣で連携したらどうか。話し合える場がほしい。(観光)
- ・従業員については、戸狩と同じ。人の確保が大変。冬100人。韓国から手伝いに来ている。ペンションは跡継ぎがない。(観光)
- ・冬は魅力がある。可能性がある。冬だけしか働けない。年間通じての魅力が必要。飯山自体が観光地になっていけば。(観光)
- ・貸切バス値上げ。バスツアーにたよっていた3月の対策を考えなければならない。(観光)
- ・キーのインストラクターを探すのが大変。地元の人がスキーに来て、スキーを上手になってもらえばいい。(観光)
- ・市内食堂に知らない人が食べに来ている。観光が変わってきている。団体から個人グループにシフトしてきている。(観光)

- ・資源の再評価をして、付加価値をつける必要がある。伝統行事が資源になる。(五束の神楽、御柱等) 花火の連携、山(斑尾)湖(北竜湖)川(千曲川)の花火を1枚のポスターにしたらどうか。(観光)
- ・外国人増えていく。京都に来ているような欧米の人をターゲットにしたらどうか。(観光)
- ・農業と観光が中心になるべきだ。(観光)
- ・思うように客が来ない。飯山の資源で使っていないものは小菅だ。文化財も多い。資源を説明できないといけない。プロの人材を活用する。旭川の丸山動物園は行動展示をしている。説明すると滞在時間が長くなる。上質な人が来る。古民家の活用も必要だ。(観光)
- ・観光の場合は「目玉」が必要。一つに集中して、やるからには徹底的に。(商工業)

<農業>

- ・飯山はおいしいものがたくさんある。それをアピールできればいい。(金融)
- ・新規就農にあたって所得保証できる制度を充実してもらえば就農を希望する転入者が増えると思う。(高校生)
- ・大規模農家を増やしていけば、就労先としても選択できるので促進するため制度設計すれば良いのでは。(高校生)
- ・JAで起業(就農)者の募集をしても人が集まらないのが現状。農業や建設業は、親が子供に就かせたくない職業かも?(子育て・若者)
- ・菌茸生産振興(農業)
 - ・5年後(2020年)のガス問題対策は改修に経費がかかるため大変厳しい。
 - ・良いものを作り高く売っていくことが必要であり、それが課題、販売戦略が最も重要。
 - ・新幹線も開業したので、食を誘客の戦略にしていくこと。
 - ・公共施設においてさらにきのこの活用をお願いしたい。
 - ・良質米生産振興(農業)
 - ・日々どうやって高く売って儲けを出すかを考えており、地域のことなどについてはかまっていられないのが現状。市・行政で何とかある程度の投資・支援が必要。
 - ・就農するにあっては住むところはもちろん、農地の確保等、行政で方向を示していただき、中間管理事業などを活用して地域への定住推進を。
 - ・遊休荒廃が進む畑について、補助事業を活用し大型機械を導入し、蕎麦・麦など作付しているが、玄蕎麦・麦では価格も今一つで中々厳しい。
 - ・米ではJAのカントリーエレベータの稼働率100%を超え厳しい状況なので行政のバックアップで増設を。
 - ・農の雇用等を活用しているが、期限終了後どうするかが問題。
 - ・ふるさと納税において飯山の米・おいしい米が全国放送などで取り上げてもらっているときにどれだけPRできるかが必要。
- ・畑作物(野菜・花卉他)の生産振興(農業)
 - ・農業専業で生きていくには、単一品目に絞って攻めの農業を展開していく必要。
 - ・岡山国営開発農地では大規模集約化が図られているが、その中で雇用の問題が課題。数年前までは黙っていても人が来ていたが、都市での賃金が上がり中々今までのような賃金での雇用ができない状況に。
 - ・新幹線も開通したが、沿線を見てもスキー場を昔から持っているのは当市及び周辺で、スキー・ボードをするためにアルバイトしながらの若者がたくさんいるので、様々な産業の皆さんと連携しながら地域挙げて、いかに繋ぎとめるかが今後のカギ。
 - ・兼業で趣味的な農業・ちょっと農業で稼ぐというような人と、農業専門で生きてく人たちと分けて検討するも必要あり。

- ・みゆきポーク生産振興（農業）
 - ・養豚は現在4戸で、このままだとあと3~4年かという状況、TPPも含め先が見えないため、法人化しても後継者へ養豚を進めるに至らない。
 - ・酪農も2戸、肉牛0、養鶏1戸で、酪農もあと数年で1戸に。そうなると耕種農家への堆肥供給もままならない状況に。現在はTTP待ちの状態、経営も大きくしなくてはやっていけない。
- ・その他（農業）
 - ・飯山市で自慢できることをみんなで出しあい、みんなで磨きをかけ、飯山ブランドとしていくことが必要。
 - ・畜産もきのこも個人では限界。きのこなら49戸が一つになって法人化してホクトに負けない工場を作って対抗するような発想を。
 - ・飯山は雪があるので、これを資源として活用することで何とかできないか。雪室貯蔵等々も一つ。
 - ・飯山は何でもできるから何でも作るではダメ。作物を選定して投資をすること必要。要は儲かれば人は自然に集まってくる。
- ・JA合併問題・TPP（農業）
 - ・JAの合併が心配。北信州みゆきとして合併前にこのエリアの大きな構想を立ち上げておく必要がある。
 - ・米や野菜等は当JAが中心に、いずれにしてもビジョンを立ち上げて合併時に持ち込む必要はある。
 - ・法人化・大規模集約化でコストダウンが必要。大規模できればTTPに対抗も。
 - ・TPP解禁でも、1割なり15%程度の人には高くても人、しっかりと説明して売っていくこと必要
 - ・みゆきポークも希少価値なのでもう少し売り方考えなくては。全農JA直販なので組織として難しい。個人経営では限界、全農・行政等で適正規模の繁殖センター作って肉豚肥育なら場所だけあれば（株）とごまでも（農）やなぎはらでも肥育管理できればいくらでもみゆきポークを生産できる。
- ・米の保管対策（農業）
 - ・JAもカントリーのビンの不足は承知しているが、補助施策がなく、経費がかかるので難しい。
 - ・金どうするののかもあるが、小さいものを数作っていろいろなアイテムを受けられるようにするか、大きなものをドンと作ってアイテムは少しとなるが量は受けられる、どちらにするか。
 - ・ブランド化・個性のあるという小さいのを数作って農家の顔が見える米作りをする必要あり。
 - ・こだわり米の識別というと結構細かく必要になる。
 - ・雇用している人を就農分家させていくに当たり、小さいサイズのビンがあれば、当面JAのカントリーを活用させてもらうような方法での分家出しの発想は可能。そういうことからいうと、国の何もわからない新規の人に補助するより、農の雇用などで就農研修受けたりして実際にやっていく人・経営体への支援をすることに徹底したほうがいいのでは。
 - ・畜産でも飼料米として地産地消で地元の米を活用できたらいいが、約1万俵くらいは必要になるので、その保管施設や粉碎施設をどうするかが問題。
- ・農地維持（農業）
 - ・中山間地の農地の維持は、今後の問題。今はいいが、次の世代では管理できなくなるのでは。
 - ・若い衆は場所もわからない。費用は農地水や中山間の費用をまとめ、一番区内を知っているオペがその対応をすることで会社として受けることはどうか。
 - ・柳原でも同じことを言われているが、その人件費を含めた費用をどうするか。
 - ・農地水や中山間の事業は地域ボランティアの作業に若干出る程度。人を配置してまでは厳しい。道・水路までは難しい。畑作もあり、これをこなすのに2人専従雇いしても間に合わない。
- ・6次産業化（農業）
 - ・畑の玄麦・玄蕎麦では儲けがない。結局それが、6次産業化等へということ。ひと手間加えれば高く売れる。蕎麦では〇〇さんが20haやっているが、粉にして売ったり、そばにして売ったりして全て売り切っている。最低の1次加工は必要。

- ・酒・リンゴの雪貯蔵等も好評。雪を活用することでブランド化も。
- ・漬物屋さん結構いろいろ新商品を研究しているので俺に聞いてくる。産業間の横の連携とれば6次化進むのでは。農家が6次化に手を出すより、専門家とのジョイント進める方がいいのでは。
- ・石田市長さん、農業と観光なんて言っていたけど、農商工の連携でいろいろできるのでは。蕎麦も麦も玄のままじゃ、6次化でやればと思うが、資金も必要だし、今は研究段階。
- ・6次化と言って施設持ったりしては採算がむずかしい。自分はスーパーへのアイデアとして千切りキャベツを8年前に考案し、5年前から商品化されたもの、今では全国どこでもある。裏では次から次へと次のアイテムを探して提案している。野菜もただ生産していたのでは経費のアップで収入が減るので提案をして自分の生産物を高く引き取ってもらうことなどが必要。千切りキャベツのカット工場ができ、第2工場もできるとのことである。
- ・生産組織の統合・法人化（農業）
 - ・みゆきポークは、基本的に法人化して行かなくては駄目。
 - ・若い衆がそういう研究会とかとかからやりたいということになればだが、実際には融資がそこまでできるかなど課題多い。きのこの価格からも
 - ・JAの合併あるので、きのこは戦略作物になるのでは、
 - ・千曲市の分含めて果樹に次いで2位となるので、強い位置になる。そうなれば、経営体1つにして北と南でやるかとならないか。
 - ・最後は人間のやる気なのだから、いくら箱物作っても、まずは底辺、若い衆、後継者がそういう気持ちになって、こうしたいという気持ちにならないと絶対駄目。
- ・畑作に方向性（農業）
 - ・国営もだいぶリタイヤする人が出てきているので、その農地を頼まれる状況が始まってきた。
 - ・常盤や木島の広くない畑を生かしていくには、集約農業でやっていくこと、ズッキーニ、キュウリ他反収の上がるもの、大根・キャベツ反収30~40万程度なので大規模でリスクも伴う。小さい農家がやるにはインゲンなども反収が上がるし、軽い物なので。
 - ・2局化している。集約化でキュウリとかに取り組む人と、広範囲で機械力で播種したり、除草剤まいたりする人である。集約農業は我々団塊の世代であり、あと5~10年すればドンドン減っていく。やはり担い手が広大な面積をやっていくようにする必要あり。
 - ・当地方で果菜類をやるのなら、育苗施設の充実を。雪のある期間にしっかり育苗して、雪が消えたれすぐに定植して、関東平野の野菜の切れ間に飯山のものをというように。
 - ・どういふ農家を育てていくか、どう支援するか、市はJAとその辺について協議を。
 - ・畑地の大区画化しても元がとれない。そんな時代ではない、整備費の負担金払ってまでは。

<商工業>

- ・学生服を扱っているが、以前の10分の1になった。人数がいないと商業は苦戦する。(商工業)
- ・伝統工芸品は注目されているが、仏壇は苦戦している分野。仏壇屋の子どもは戻ってきているが、職人の子どもは戻ってこない。(商工業)
- ・仏壇を作りたいと思っている人を都会から呼んでワークショップのようなものを開きたい。作りたいと思っている人はいる。(商工業)
- ・冬の雪の負担、企業にとっては重い負担。マイナス要因。(商工業)
- ・マイナス要因を解消するサービス・優遇措置は企業誘致する際のポイント。(商工業)
- ・飯山での消費が減っている。県外へ出さないと儲からない。(商工業)
- ・年収300~400万円では息子には継がせられない。勤めればもっと収入がある。(商工業)
- ・ブランド化と以前から言われているが、発信力が弱い。(商工業)
- ・新卒者は年に数名採用するが、飯山市からの応募がない。工業に興味がないのか。(商工業)
- ・「交代勤務：24H、365日」が工業には必要だが若い人には受け入れられない。考え方を変えていかないと、飯山に戻って働くということにはならない。(商工業)
- ・徳島県神山町、考え方の「スパン」が長い。「30年後」「自分が死んだあと」の街づくり。投資

- にすぐに結果を求めるのではダメ。(商工業)
- ・ 神山町は「人」が「人」を呼んで成功したが、まねできない。(商工業)

若者定住・移住定住推進

<若者定住>

- ・移住者だけでなく、現在の若者にも同様の補助制度を。移住を希望する若者が3年、5年後のビジョンを描けるような施策をお願いしたい。(移住)
- ・若い人が来たいと思う地域になってほしい。(移住)
- ・自分の進路が決まっている場合は(飯山市に)帰ってこない。中学生の段階で(飯山市の)魅力や課題をみつけ、高校時に意識がないと進路後に興味をもってもらえない。中学・高校で(飯山市の)魅力発見、課題を考える機会があれば良いと思う。(高校生)
- ・大学に進んで自分のスキルを活かせるかと考えた場合、飯山では厳しいのではないか。自分のスキルを活かせる場(仕事)を設けてもらえれば帰ってくることも考えられる。(高校生)
- ・帰ってきたいという人も多いが、飯山には住む良さが無いという人もいる。(飯山市に)興味をもってもらえるよう高校授業の一環で飯山市の問題点・課題等を投げかけ、興味を持ってもらい自分たちで解決するようなカリキュラムがあれば良いと思う。(高校生)
- ・就職を考えて大学進学をしようと思う。(飯山市には)自分を活かせる場所がない。飯山は好きで戻ってきたいというが、専門性を発揮できる場所がないため市外に就職してしまう。若者向けの職業があれば帰ってくると思う。(高校生)
- ・自分は名古屋からスポーツ科学科に進学したが、市外から来てみて(飯山市は)田舎だと思いが、スポーツ選手には良い環境だと思う。都会では洋服や雑貨などを買うことが遊びになっている。(飯山市にも)都会的要素を入れれば良いのではとも思う。(高校生)
- ・職業が不足している。専門性スキルを活かせる場所がない。(高校生)
- ・(農林高校は)農業高校として各種の資格を取れる。(その資格を)活かした仕事が増えてはいるが、林業系は多いが、食物・動物系の仕事は少ない。(職業とすると)農業であれば、ある程度の作付面積は必要。(高校生)
- ・自然を活かして動物と触れあったりするなど、農業高校を通じて飯山を好きになっている。飯山の魅力を伝えたい。(高校生)
- ・アグリスクール等で子ども達と交流しているが参加する子どもが少なくなっている。飯山の農業に興味をもってもらえない。農業と触れあう機会を小学生のときから実施してもらえればと思う。(高校生)
- ・農業に関わっていききたい。(高校生)
- ・進学学部は決まっているが、その先の将来はまだ決めていない。(高校生)
- ・就職したいと思うが自分の求めている職場が飯山には無い。林業系は強いが、食物・動物系の職場がない。(高校生)
- ・新幹線通勤は費用的に難しいのではと思う。車か飯山線で通勤すると思う。(高校生)
- ・子どもを産みたいと思えるような環境が整っていない。経済的な部分で保証するような制度が必要では。(高校生)
- ・地域の若者から「役目が多くて大変」という声を聞く。人口が減った分、消防団、祭礼など、若者の負担が増している。若者としても「頑張って続けていこう」という意志ではいるが、何らかのバックアップ・支える仕組みがあれば、地域の文化もより継続していけると思う。(子育て・若者)
- ・例えば沖繩なら、若いうちはダイビングのインストラクター、晩年はショップ経営(売り子)などといったライフサイクルが見られる。「飯山モデル」を示せれば若者からもっと具体的なアイデアなど出てくるかも知れない。(子育て・若者)

<移住定住>

- ・移住定住については、地元の市町村と連携して移住の推進協議会のようなものを作って、不動産業者、建設業者、自動車販売店、商工会議所、金融機関等、受け皿として全体的に移住を希望する方のニーズに対応していく組織を作っている。それは、真似をしてもいいのではないかと考えている。そのような点を市町村の方にも提案していきたい。(金融)
- ・移住定住の関係では、二地域居住等も考えられるのではないか。(金融)

- ・北陸方面が非常に近くなったがその活用というものが見えてこない。企業も盛んな地域でもあり、一時間もかからないで通える範囲でもあるので飯山市に住んで通うということも考えられる。(金融)
- ・地域が本当に移住者に来てほしいと思っているところ(そういう雰囲気のあるところ)に移住したいと考える。柄山に住んでいたが、アットホームの雰囲気でもよかった。(移住)
- ・現住の市民が、市の財政状況等を意識して「移住」が必要と思っているのか疑問が残る。「在住者への優遇策が無いのに、なぜ移住者に厚遇するのか」との意見を聞く。(移住)
- ・現実に、移住を考えて地区に入って地区の事情を聴きまわったら、区費は年間約7～8万円と聞き諦めた人がいた。調べてみると、2万円程度だった。地区によっては移住者を受け入れたくないと考えているところもあるようだ。(移住)
- ・年間区費10万円程度は理解できる。(移住)
- ・都会に住んでいる者にとって区費というものが理解しづらい。(移住)
- ・各地区の区費をオープンにしてほしい。区費とそれに見合うサービスのバランスが重要なので、区費については何に使われているかオープンにすることが必要、活動内容を明確にし、集落の集まりをもっとオープン(女性も気軽に参加可能)にする等にして、古い体質を変えていかなければならない。(移住)
- ・空き家の賃貸、中古住宅等があるが、建物は安全かどうかの視点が大切と思う。中古物件は耐震性に問題があるのではないかと。中古住宅の改修に係る支援額が足りない。全国で目を向けてもらうには、もっと高額にすべきだ。耐震性がある物件はそれだけでアピールポイントになる。
- ・賃貸の希望が多いと言われるが、実際には地元にも賃貸の要望はある。(移住)
- ・独居の高齢者などは、冬季にはアパートに住んでもらい、空いた自宅を若者に貸し出すことも一つの案。(移住)
- ・地域に賃貸物件が少ない。空き家になる前に高額補助(100万～300万位)を貸し手に行えば物件は増えてくると思われる。(移住)
- ・村部の老人は雪処理が出来なくなるので、自分の家屋を寄付することを条件に市街地に誘導し、一人暮らし老人のシェアハウス。特に冬季はそこに住んでもらい、自宅は市に管理してもらい、若者に貸し出す。(移住)
- ・受入側が来てほしい人を指名し、「来てくれたら地区がその人のために〇〇を支援しますよ」的なモデル集落を作れないか。(移住)
- ・古民家を市が所有し、リホームを行い(洒落た感じに)、市営住宅等の賃貸を。シェアハウスでもいい。(移住)
- ・お試しハウスの充実を。(様々なパターン：古民家、シェアハウス、アパート等)(移住)
- ・いいやま住んでみません課のネーミングは対外的に非常にインパクトがあった。好評であった。移住定住推進課名をいいやま住んでみません課に戻すことでもインパクトがある。(移住)・(少子化対策として)出生を増やすには独身男女の結婚が必要。TVでお見合いの番組をみたが、(飯山市でも)市外の女性を集めるような婚活事業を積極的に実施してはどうか。(高校生)・子どものために自然を求める(都会の)家族がいると思うが、仕事がないと金銭面等で子どもに自由を与えられず、移住してきても市外に出て行ってしまふ。自然も大事だが都会的要素もある程度は必要では。(高校生)
- ・他の自治体を参考に移住定住しやすい制度の新設を考えるべきでは。(高校生)
- ・飯山を知ってもらうことが大事。長野の高校生でも飯山を知らない。自然を最大限活かした空間を作って交流人口を増やし、リピーターになってもらい移住してもらえればと考える。特にウィンタースポーツをPRすることが大事である。(高校生)
- ・荒廃農地が多くあるので活用をして就農させる。情報発信をして市外から農業従事者を募集してはどうかと考える。(高校生)
- ・家を建てる場合に、市有地を条件付きで無償貸付してはどうか。例えば、何年間か住むとか、子どもを産んでもらうことを条件にするなど。また、子育てするための各種保証制度を設け子育て環境を整え情報発信していけば良いのでは。(高校生)
- ・新幹線は100年に一度のチャンス。飯山に住んでも通勤できる。通勤に対して市の補助を。飯山に雇用の場がなくてもOK。(商工業)

子育て支援・次世代育成

<子育て支援>

- ・出生率が低いので、若い方に子供を産んでもらう施策が大事。飯山に住んで住宅を建てるといった時に金融機関と連携して若干ローンを軽くして、その分子供を多く育ててくださいというようなものも一例。(金融)
- ・「森の保育園」が他市ではある。自然体験させられる保育園等で売り出して移住してもらえれば良いのでは。田舎に徹底的にこだわり活かしていけば良いのでは。(高校生)
- ・女性が子育てしながら仕事をするのは大変厳しく、複数子が居れば順番に風邪をひいたり、その分仕事を休んだりしなければならず、子が具合悪い時に見てもらえる体制があればいいと思う。また、子育てと両立できる仕事そのものが、この地域に少ない。(子育て・若者)
- ・自然やポケットパークは数あるが、子育て世代が集まれる公園がない。ママ友のほとんどが「けやきの森」「小布施」など市外の公園へ出かけている。市内に1か所でいいから、子供(主に男児)が使いやすいトイレなど、充実した設備の公園が欲しい。(子育て・若者)
- ・飯山市の不妊治療助成は、他市他県と比較して劣っているので充実させて欲しい。(子育て・若者)
- ・子育て支援を充実させると、親の手が空いていても園に預けられる子がいる。果たして子供のことを考えているのか？と疑問を感じる。一方、今の子育て支援制度の充実により、長時間働く母親を増加させ、子供との関わりを減らしてしまっている面も感じる。(子育て・若者)
- ・昔と時代が変わってきている。今は母親の負担が大変な状況。父親にもっと子育てに関わって欲しい。(子育て・若者)
- ・3人目の未満児を預けて働きに出た母親が、生き生きと張り切っているように見えた。「子供を預かってもらえて有りがたい」という声をきいた。外様へiターンした3児の母は、自給自足的な暮らしの中で子供が野菜を食べられるようになった、こちらの生活に満足していると話していた。(子育て・若者)
- ・一時保育の制度など飯山市にも有るが、あまり知られてない。(子育て・若者)
- ・土日の保育が始まったが、もっと早くやってほしかった。先手を打って。(商工業)

<次世代育成(教育)>

- ・奨学金制度について、金融機関の皆さんから奨学金を、上乘せをする等制度充実にご協力していただきたい。(金融)
- ・スポーツの専門学科がある飯山高校が甲子園に出場するなど市民の皆さんが共有して楽しめるものがあるといい。(金融)
- ・アグリスクールに参加する子どもが少なくなっている。改善をしていかなければと思うが、小学生に農業に触れる機会を増やしてもらいたい。(高校生)
- ・(農林高校は) いろいろなコースに分かれていて、いろいろな資格が取得できる。農業に対する良いイメージが無いので良い学校だということをアピールしていきたい。(高校生)
- ・自分も入学前は農業に興味が無かったが、入学後興味をもって勉強しているので、入学前の中学生に興味を持ってもらえるよう農林高校を情報発信していければと思う。(農林業だけでなく)食品関係などもあるので(高校の)多様性をアピールしたい。(高校生)
- ・資格を取れる授業が3年からしか無いので、1年時から進路を決めることのできるカリキュラムを設けてもらえればと思う。(高校生)
- ・(自分は) スキーをするために飯山高校へ進学した。今年度入学のスポーツ科学科1年生が25人と減ってきている。飯山高校はウィンタースポーツが強く大きな強みだと思うので、全国的にアピールすれば市外からの転入者が増えると思う。(高校生)
- ・スポーツ科学科では上下関係が厳しく、大人になるための基本を教えてもらった。自分はスポーツ推薦で大学進学をするので、スポーツ推薦による大学進学やスキーが大きなインセンティブだと思うのでアピールをしたい。(高校生)
- ・SSH で講演会があり、飯山の課題を勉強してきたが、講演だけでなく各自が飯山を考えるカリキュラムを「探究科」だけでなく「普通科」も含め実施していけば飯山に関心を持ってもらえ

ると思う。特に『観光』はどんな面でもアプローチできるので観光を視点として飯山を学習することも大事かと思う。(高校生)

- ・長野の高校と比較しても、飯山北高校の先生達の進学に対するサポートは手厚いと感じる。飯山高校は統合するが、飯山北高校の歴史文化は残していただきたい。(高校生)
- ・田舎ではあるが、教育の面では強いと思う。地域全体でよくするには、キャリアガイダンス等の説明はあるが、実際の職業等に従事し体験学習する事が大事と考える。高校の枠を越えたカリキュラムや講演だけでなく実践が大事だと思う。(高校生)
- ・転出抑止として、親が「飯山は良いところだ」といって子育てすることが必要。新幹線を使えば飯山に居ながら他地域へ就学や就労も可能なのだから、もっとPRしてもいいのでは？(子育て・若者)
- ・農業・観光だという前に市長の英断として、子供を産むなら飯山、子育てするなら飯山を実施することにより、まわり回って各産業にも恩恵が出てくるのでは。ふるさととってくれる子供を先ず増やすことにより農業をやる人が出てくるのでは。他の予算を削っても、教育・子育て予算を確保必要。(農業)

いつまでも安心して暮らせる地域づくり／その他・全般

- ・飯山は雪が多く、生活にとって重みにならないかと思っていたが、住民は雪と一緒に住むということ強みにされていることを実感した。日本海に近いなどのプラス要素も多い、雪は生活の一部で克服していることを合わせてPRすればいいのではないか。(金融)
- ・消雪環境がしっかりしているので、雪へのイメージを逆転の発想ができないかと感じる。(金融)
- ・飯山市は都会に比べれば安全安心であるし暮らしやすいと思う。(高校生)
- ・東京に一極集中しているものから地方への流れをつくるために東京から見たときに飯山市が「いいな」という違いを作っていかなければいけない。飯山市の強みを作っていく必要がある。(金融)
- ・農業、工業等それぞれの分野だけではなく、金融機関、財界も含めた横の連携が必要。(金融)・地域資源を活用した6次産業化への支援、観光産業の支援、魅力ある子育て環境づくり、移住交流といった人口増加に向けた支援をメニューに考えている。(金融)
- ・来年城南中学校が移転するためその跡地利用は大事な課題。地域創生につながるような土地利用をしたい。(金融)
- ・新幹線ができて飯山は東京に近いということを実感した。これまでのような長野につながった飯山ではなく、単独で東京を見てよいのではと感じている。(金融)
- ・東京からも北陸からも長野市の中の飯山ではなく、飯山市という自分の顔を持っていい時間的距離にあるのではと思うが、意外に地元の方がそういうふうに思っていないのではないか。(金融)
- ・駅前の民有地、市有地があるがどんな活用ができるか、また、駅周辺にどんな未利用地があるのかという情報も提供いただいて、こんな使い方がある等も情報をお願いしたい。(金融)
- ・自然を売りにするのか、都会化するのかターゲットをどうするのかで変わる。自分としては自然を残しつつも不便で無いことが大事だと考える。(高校生)
- ・東京生まれの一人っ子育ちなので、同居や何人も子育てするイメージが自分には沸かない。東京の友達には受け入れられないが、自分にはこの地域の農業や自然、細工などに「刺激」を受けている。この地域に自分は魅力を感じている。(佐藤)
- ・コンパクトな街づくりがよい。病院、公園、保育園などが狭い範囲にある。老人から子育て世帯まで安心して住める。(商工業)
- ・コンパクトシティ化も図る必要がある。(観光)
- ・雪国で家を建てるのはお金がかかる。維持費もかかる。行政支援を(三世代補助金に併せ補助金、固定資産税、基礎高部分の扱い…) (商工業)